

こんにちは

# 下諏訪町議会

です



40号

5月臨時会

6月定例会

令和5年7月28日発行



下諏訪町議会  
HPはこちら



## 新・議会始動!



**魅力ある開かれた  
議会を目指します！**

議長 樽川 信仁

この5月より議員皆様からのご推挙を賜り、議長の重責を担うことになりました。しっかりと職責を全うすべく、全身全霊を傾けて、精一杯住民の皆様のご期待に沿うよう、努めていきたいと思えます。新人議員5名、2期目議員が4名と円熟の議員4名でスタートしました。若いフレッシュな議員も参加することにより、明日の下諏訪町をより良くするため、多くを学び、住民参加の町づくりを目指していきます。

若い仲間が加わることにより、新しい発想が町の未来を拓く糧となることを信じ、町の未来を夢見ていこうと思えます。若くなつたからと言ってすぐに良い町にはなりません。しかし、夢を語ることは大切です。明るい希望あるところに、必ず明るい明日は訪れます。提案する議会を最優先し、議員が一丸となつて、より多くの住民の皆様との対話を通じて、生きがいのある夢のある明日を目指します。

町民の皆様には、ぜひ議会に興味を持っていただきご意見やご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

## 5月臨時会 議会構成決まる

町議会議員選挙後の5月15日に臨時議会が開催され、下記の通り「議会構成」が決まりました。町からは議会選出監査委員に中山透議員の選任議案が提出され、同意されました。

### 議会事務局

### 議会選出監査委員

中山 透



林 元夫 副議長



樽川 信仁 議長

### 下諏訪町議会構成

- ◎委員長
- 副委員長

### 生活文教常任委員会



林 吉広



○竹元完奈



◎大橋和子



林 元夫



金井敬子



花岡 進

### 総務経済常任委員会



高橋幸二



○豊島健之



◎野沢弘子



青木利子



中山 透



松井節夫

### バイパス対策特別委員会

- 花岡 進 ◎林 吉広
- 樽川信仁 高橋幸二 豊島健之
- 松井節夫 林 元夫

### 広報特別委員会

- 竹元完奈 ◎林 元夫
- 高橋幸二 豊島健之
- 大橋和子 野沢弘子

### 議会運営委員会

- 高橋幸二 ◎青木利子
- 林 吉広 大橋和子
- 野沢弘子

# 一目でわかる議決結果

## 5月臨時会

議案名(一部省略)	
同意	監査委員の選任

## 6月定例会

議案名(一部省略)	
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任
同意	農業委員会委員の任命
同意	教育委員会委員の任命
承認	【専決処分】令和4年度一般会計補正予算(第10号)
承認	【専決処分】令和4年度温泉事業特別会計補正予算(第3号)
承認	【専決処分】令和4年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第4号)
承認	【専決処分】税条例の一部改正
承認	【専決処分】都市計画税条例の一部改正
承認	【専決処分】国民健康保険税条例の一部改正
承認	【専決処分】令和5年度一般会計補正予算(第2号)
可決	消防ポンプ自動車の購入
可決	令和5年度一般会計補正予算(第3号)
可決	令和5年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)
陳情名	
不採択	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情
採択	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情
採択	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情
採択	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情
意見書案名	
可決	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書
可決	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める意見書
可決	へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書
可決	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
可決	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を求める意見書
否決	防衛力の大幅増強と国民負担の中止を求める意見書
否決	最低賃金法の改正と中小企業の支援拡充を求める意見書

## 6月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議員名(議席順)	議決等結果	樽川 信仁	高橋 幸二	林 吉広	花岡 進	竹元 完奈	大橋 和子	金井 敬子	豊島 健之	野沢 弘子	松井 節夫	中山 透	青木 利子	林 元夫
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	/	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を求める意見書	可決	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
防衛力の大幅増強と国民負担の中止を求める意見書	否決	/	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
最低賃金法の改正と中小企業の支援拡充を求める意見書	否決	/	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

# 陳情・意見書の審査結果

陳情第5号

長野県労働組合連合会提出

**「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情**

現行法では最低賃金決定の3要素、その地域の労働者の「生計費」「賃金」と「事業の支払能力」を考慮して決めている。労働者の賃金は経済の最も基本的なベースであり、一律にしなければどんな経済対策を講じても日本経済は再生しない。

1. 政府は最低賃金法を全国一律制度に改正すること

2. 政府は最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業、農林水産産業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ることに努めること

**審査結果**…採択、趣旨採択及び不採択に分かれ、不採択に。

**賛成討論**…非正規労働者の労働環境が悪い。地域間格差の解消が必要

**趣旨採択**…陳情の願意は理解するが、全国一律賃金は地方経済に悪影響

**反対討論**…全国一律賃金・中小企業支援に合理性が見当たらない。

陳情結果(不採択)を受けて賛成議員による意見書が提出された

意見書

意見書案は陳情結果と同じ結果となり、意見書案は見送られた。

陳情第6・7・8号

長野県教職員組合諏訪支部提出

**6号 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情**

小学校は35人学級が実現することになったが、中学校は40人のまま。長野県は小中学校全学年で35人学級となっており、複式学級の定員についても8人としているが、義務標準法の裏付けがなく財政負担が大きい。

1. 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元するなど拡充すること。

**審査結果**…全会一致で採択

**7号 さらになる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情**

学校現場では、新学習指導要領やGIGAスクール構想への対応など、解決すべき課題が山積。教材研究などの時間を十分確保できない。

**審査結果**…全会一致で採択

以上の審査結果により、意見書を関係自治体に提出することに決定。意見書案は生活文教委で提出

意見書

審査結果…陳情第6・7号に係る意見書は国へ提出。

陳情第8号に係る意見書は県へ提出。

意見書

**特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書**

議員提案

概要…特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、教育現場では、新たな特別支援教育体制の整備が必要。特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置や特別支援学校のセンター的機能の強化など財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

**審査結果**…全会一致で可決し、国へ意見書を提出。



会日  
議初

プレミアム付商品券発行などの専決処分を承認

専決処分とは

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について町長が地方自治法の規定に基づいて（特に緊急の場合など）議会の前に自ら処理することをいう。

主な専決処分の内容は以下の通りです

条例改正

国の法改正に伴つ、町税条例、都市計画税条例と国保税条例の一部改正

R4年度一般会計補正予算(約1億7千万円)

①昨年度の地方交付税額や各種事業費の確定による起債額の変更と剰余金の基金積立

②寄附金の基金積立や寄附者の意向に沿った事業への財源振替など  
企業版ふるさと納税で(株)インクスシナノ様から2千万円の寄附

R5年度一般会計補正予算(約1億5千万円)

- ①国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付商品券(プレミアム率20%)の発行事業や町民税(均等割)非課税世帯を対象にプレミアム付商品券を3冊支給する事業
- ②低所得の子育て世帯に対する子供一人当たり5万円を支給する生活支援特別給付金事業
- ③中学校のボイラー修繕費など



企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に對し企業が寄付を行った場合に、最大で寄付額の9割が税額控除される仕組みです。

意見書

適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を求める意見書

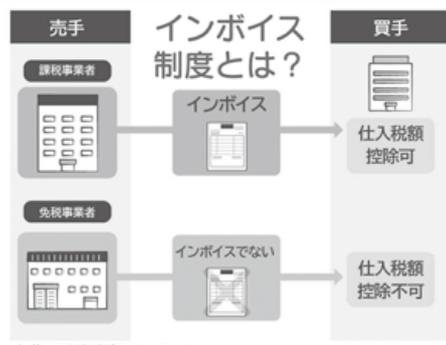
議員提案

概要…今年10月から実施されるインボイス制度は、支払先がインボイスを登録しないと仕入れ税額控除が出来ないため、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。個人事業者など現在の免税事業者と取引のある課税事業者に広範な影響を及ぼす。制度の周知が不十分で、多くの混乱を招くので、同制度の廃止を求める。

賛成討論…個人事業者など零細企業に影響が大きい

反対討論…周知は万全、税の公平性が保たれる

審査結果…賛成多数で可決し、国へ意見書を提出



出典：政府広報オンライン

意見書

防衛力の大幅増強と国民負担の中止を求める意見書

議員提案

概要…今後5年間で防衛費に43兆円を投じるための財源確保する防衛力財源確保特別措置法が今国会で成立。防衛費拡大のために将来にわたり、国民に負担が押し付けられる。軍備増強ではなく、物価高騰にあえぐ国民に寄り添った施策を実施すべきだ。

賛成討論…国民負担が大きすぎる。子供予算を増やすべきだ

反対討論…自らの安全保障は、自ら補う必要がある

審査結果…賛成少数で、否決

議案審査結果

私たちは問いかけ提案する  
**一般質問**



▶ **下諏訪町議会 議会中継**

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。

6月定例会の一般質問は  
12人が行いました。

- 7 p 協力隊の活動に何を期待しているか  
高橋 幸二  
75歳以上医療費負担増への対策は  
花岡 進
- 8 p 土砂災害の可能性のある地域への対策は  
豊島 健之  
結婚・出産に踏み切れない若者へ支援を  
林 吉広
- 9 p 観光・商業の活性化を  
大橋 和子  
学校トイレ洋式化進捗状況について  
野沢 弘子
- 10 p 男女共同参画週間のキャッチフレーズは  
青木 利子  
高木橋改修工事の予算概要は  
林 元夫
- 11 p 秋に行っていた運動会6月にやるのは  
松井 節夫  
サードプレイスと文化的なまちづくりを  
竹元 完奈
- 12 p 春宮前の無人販売所の取得は考えないか  
中山 透  
子育て支援「3つのゼロ」実施を  
金井 敬子

**議 案 審 査 結 果**



**新消防ポンプ車 第5分団へ**

消防ポンプ自動車購入契約に関わる議案が提出されました。契約金額は2761万円で、第5分団の要望を取り入れ、外部スピーカーやドライブレコーダー等の装備も搭載しています。  
全会一致で可決されました。

**R5年度一般会計補正予算(第3号)  
通園バス置き去り防止装置導入へ**

企業版ふるさと納税で(株)スリのサンロード様から100万円の寄附があり駅前グリーンベルトに活用すること。がん患者の、外見の変容を補完するウィッグなど補正具等の購入費用の2分の1、2万円を上限に補助するアピランスケア補助制度の創設、通園バス置き去り防止装置導入や使用済み紙おむつ保管庫の設置等の補正予算が提出されました。  
全会一致で可決されました。



物価高騰により「太白」の食費増額へ  
特別養護老人ホーム「太白」事業において、物価高騰による食費の増額分一食20円、85万円を基金に求めたものです。委託契約にも明記されており、問題ないと判断されました。  
全会一致で可決されました。

**75歳以上医療費  
負担増への対策は**



全世代で公平な  
負担が必要



町長

**協力隊の活動に  
何を期待しているか**



町の活性化に従事し  
心強い



町長



**問** 医療団体の調査で2割負担となった高齢者の8割が「負担が重い」と回答。受診抑制が起こっているのではないか。現状の把握は。 **住民環境課長** 生活困窮の相談は寄せられていない。 **町長** 深刻な状況になる前に生活困窮者に対応する。 **問** 2割負担を撤回するよう国に求める考えは。 **町長** 今後の医療費増加を現役世代が担わなければならないため窓口負担



**問** ミーミーセンターズメバの活用方法についての考え方は。 **産業振興課長** 「i。シロトリ」を3月で閉鎖し、ミーミーセンターズメバに一本化した。空き家掲示板・移住相談等を行っていく。 **問** 空き家対策の具体的な取り組みは。不動産業者・宅建業協会との連携は。 **産業振興課長** 空き家流通促進のため、今年度補助金を新設した。宅建業

を2割にすることは必要。 **介護保険制度の改善を** **問** 諏訪広域連合の介護給付費準備基金を取り崩して介護保険料の引き下げを行うよう、要望すべきでは。 **町長** 団塊世代が75歳以上になるR7年度を見据えて持続可能な制度としていかなければならない。 **問** 介護施設の食費・居住費の低所得者への町独自の補助制度の創設の考えは。 **町長** 町独自の支援は困難。

協会等と連携して移住イベント等に参加している。 **暮らしやすさ町づくり** **問** 子育て世代への情報発信について具体的な施策を考えているか。 **教育こども課長** 町のホームページ・広報誌・新聞などで周知。すぐるのにて保育園・小・中学校の保護者向けに情報発信を行っている。 **旧矢崎商店の活用方法** **問** 旧矢崎商店の検討状況

利用者減免制度などで支援していく。 **無料定額診療の周知を** **問** 無料低額診療を知らず利用できないことがないよう周知が必要では。 **保健福祉課長** 諏訪地域では諏訪共立病院が実施。役場窓口パンフレットを置き相談者に説明している。県と調整できたのでホームページに掲載する。 **問** 保険薬局では無料低額診療が行えないため薬代の

は。 **町長** 専門の委員会で検討を行っている。現状調査に時間がかかった。移住定住の拠点となるよう慎重に行うよう指示している。 **問** 今後のスケジュールは。 **町長** 構造上の変更等は委員会の意見を踏まえて判断。R6年度に改修の実施設計。R7年度に改修。R8年度に活用実施を予定。 **問** 活用方法をどう考えるか。 **町長** ポテンシャルが高く、



ホームページに掲載

空き家見学会にて参加者の悩みを聞く



町の新しいシンボルになる。中長期的な視野を持つことも必要。耐震改修もしっかりと行っていく。 **すぐる** 連絡用システムアプリ

結婚・出産に踏み切れない  
若者へ支援を

若者の価値観を  
尊重すべき



土砂災害の可能性のある  
地域への対策は

住民を  
防災モニターに委嘱



出産ができない若い世代が  
一歩前に進める  
支援をしていく  
べきでは。

**問** 将来への不安により結婚したくてもできない、子供を産みたくても産めない若者への町具体的な支援や援助の現状は。

**総務課長** 具体的な支援や援助は現時点ではない。出会い婚活プロジェクトによる婚活イベントや不妊治療助成制度等の活用を。

**問** 先行きが見えず結婚や出産ができない若い世代が



箇所は引き続き  
要望する。  
**問** 耐震補強工

**問** ハザードマップ等での危険箇所や、住民が不安に思う場所に関する安全確保の事前対策は。

**総務課長** 町内22ヶ所に1人ずつ、地域の実情を熟知した防災モニターを委嘱し、災害時の対応などの情報共有を図っている。

**建設水道課長** 町内に危険な大規模盛り土造成地はない。県の砂防事業を要する

町長 ガードレール等は道

学校通学路の安全対策

**問** 子どもたちの命を守るため、一刻も早くガードレールを設置して欲しいが。

**町長** ガードレール等は道

**町長** 結婚・出産の価値観が多様化している。資金援助も含め個々のニーズの把握に努める。

**問** 若い世代へ所得制限のない支援が必要ではないか。

**町長** 現行の結婚後新生活支援住宅、新生活支援事業補助金等の活用を。

事が進まない旧耐震基準の住宅への対応は。

**建設水道課長** 町からは取り壊し費用の支援と県からの新築経費の支援を案内して対応する。

**移住定住支援事業制度**

**問** UIJターン支援制度の利用予定は。

**産業振興課長** 多くの県内市町村が参加し、移住希望者にとって有利な制度と認識している。実施に向け研究を進める。

**問** 地域活性化を担う人材をどう育成するか。

**町長** 地域の活力創生チャレンジ事業や下諏訪みらい塾等の「場」を通じて、町の発展の為に主体的に行動する人材育成を推進する。

**問** 子どもの安全を見守る団体との関係性を深め、組織拡大や人材育成へ積極的に関わるべきだと思いが。

旧矢崎商店有効活用を

**問** 歴史的・文化的要素のある旧矢崎商店の今後は。

**町長** 短期的視点重視のまま

路幅が狭い道路には適さない。ラバーポールやグリーンベルトの整備を推進する。

**問** 通学路で倒壊の危険性がある既存ブロック塀に対し、所有者への積極的な措置が必要であると思うが。

**町長** 今までの取り組みに加え、戸別訪問等をして積極的に改修を推進するよう担当課に指示する。

**問** 子どもの安全を見守る団体との関係性を深め、組織拡大や人材育成へ積極的に関わるべきだと思いが。

**町長** 町として団体に関わることは会員の方々にとって負担になりかねない。自主的な住民の地域力にこれからも期待する。

車に気を付けて、  
いってらっしゃい



**町長** 町として団体に関わることは会員の方々にとって負担になりかねない。自主的な住民の地域力にこれからも期待する。

町の景観にこの佇まいを  
取り込められれば



ちづくりでは金太郎飴のような町になりかねない。建物の佇まいを町の景観として残すことも重要であり、町全体の活性化にも良い影響を与える。

**学校トイレ洋式化  
進捗状況について**



のざわ ひろこ  
野沢 弘子

洋式化率40%程度



**観光・商業の活性化を**



のおはし かずこ  
大橋 和子

酒蔵との連携などを考える



町長 本体工事が必要な場所は

**問** 中学校新一年生の棟のトイレが、女子用では下中が和式4洋式1、社中が和式5洋式2で、特に洋式トイレが少なく、休み時間に入れなかつた生徒が大勢いた。文科省ではR7年度までに公立学校のトイレの洋式化を95%まで整備する目標を掲げている。特に不便な中学校新一年生の女子トイレの洋式化を早めに工事して欲しい。



和式便器が並ぶ中学校トイレ

着手できず、整備計画の中で順次できるところから計画的に進めていく方針。



町長 全国新酒鑑評会で金賞を受賞し

**問** 大社通りの活性化は。産業振興課長 信州しもすわ湯の町マルシェ等の取り組みや大社夏詣のライトアップ、三角八丁等で町内事業者に参加を促し活性化を進めている。

**問** 駅前商店街の課題は。産業振興課長 昼間に食事する場所が少ない。空き店舗解消に合わせ、商業施設誘致なども努力していく。



全国新酒鑑評会で金賞受賞

ている。空き店舗活用で、食事処を開設したら観光客集客の良い空間になると思うが。

町長 町内唯一の酒蔵であり趣向を凝らした店があれ

ば、町も連携して進めたい。

**問** インバウンド事業に対する町の具体的施策は。産業振興課長 訪日外国人旅行者が増加し、台湾教育旅行の視察受入れもある。今後インバウンド戦略部会の協力により、諏訪地域全体で営業展開する。

**問** 新規諏訪湖創生、ビジネスについて、どう捉えるか。住民環境課長 県では水草刈り取り船でR5年からは今までの除却量を倍増し、バランスのとれた、ヒシの

**「諏訪法性兜」の展示**

**問** 好評だった諏訪湖博物館での信玄ゆかりの展示は大河ドラマでも注目されている。再公開する考えは。また、連休中の諏訪湖博物館特別企画の集客状況は。町長 県外の2博物館へ貸し出す予定がある。その後、11月以降に再展示したい。

産業振興課長 9日間で1442人が入館。まれに見る反響だった。

除去や浚渫をしてゆく。

**こども食堂の拡充を**

**問** こども食堂の現状と課題は。補助金制度の拡充は。教育こども課長 町のこども未来基金を活用したこどもらんど事業がありR1年度から4年間に40回利用がある。子ども居場所づくりとして、信州こどもカフェ

がある。町内では4施設の登録があるが、担い手が少ないので、新たな事業者の掘り起こしを考えている。

**問** 以前、町としてのLPガス高騰対策が困難と伺った。6月に長野県として制度設計ができると聞いている。LPガス高騰対策は。産業振興課長 県の価格高騰対策の動向を注視しながら、必要な連携を図る。

**イオン再開間近**

**問** イオン再開の動向は。

町長 6月2日に町はイオン・リテール(株)様と連携協定を締結、2025年上期の開業の意思を確認。

男女共同参画週間の  
キャッチフレーズは

みんなでつくる  
みんなの未来

総務課長



あおき としこ  
青木 利子

高木橋改修工事の  
予算概要は

総工費  
約13億9千万円

建設水道課長



はやし もと元  
林 元

**問** 令和5年度の男女共同参画週間に関連した町独自の事業は。

**総務課長** 男女共同参画週間は条例の公布に伴い毎年6月23日から29日までの一週間。ポスターは1階のロビーに展示。男女共同参画センター「あいとぴあ」より借りた啓発パネルや関連図書等のコーナーを開設。町独自の事業は男女共同参画推進委員会と町役場男女共同推進会議を開催。



画推進委員会と町役場男女共同推進会議を開催。

**問** 高木橋改修工事の予算概要は。

**建設水道課長** 総工費4か年で約13億9千万円。当初計画より8千万円減。

**問** 総合文化センター改修工事と重なるが。

**総務課長** 複数年度にわたる大型事業で、国庫補助、起債の他、3年間で約8億5千万円積立てた基金を活用する。起債残高もR4年度末で約95億円にまで減少してきて心配ない。



度末で約95億円にまで減少してきて心配ない。

**問** ジェンダーフリーの社会」についての考え方は。

**総務課長** 当町もSDGs 17の5の男女平等達成のインパワメントがゴール。



令和5年度ポスター

公債費はR10年度にピークで約12億円。



R6.1月から改修予定の高木橋

DX推進着実に進む

**問** DX（デジタルトランスフォーメーション）の進捗状況は。

**総務課長** 住民サービスや事務効率向上のため昨年度から、9つのワーキンググループ(WG)により進めている。AI(人工知能)会議録システムや保護者連絡用アプリなど6項目での協議を終え、5つは本格稼働中。消防団業務システムは年内に開始。キャッシュレス決済等3つのWGは、本年度スピード感と柔軟性を持って進める。

水の里の旅コンテスト

**問** 旅行プランの内容と企画販売を通しての成果は。

**産業振興課長** 観光振興局で「しもすわ分水嶺紀行」としHPで観光体験プログラムを販売中。専門家の解説、自然や歴史・文化・地質に詳しい案内人に加え、登山ガイドも同行。町の魅力である諏訪大社や八島湿原・星ヶ塔の魅力を網羅。

**産業振興課長** 5月27日に町民割引デー「星ヶ塔遺跡特別見学日帰りツアー」を開催。13人が参加し、縄文文化に触れて町民同士が交流した。

**問** 町長の観光への考えは。

**町長** 国有林内制限の中、振興局の案内で開催できたグランドデザイン策定事業と同じで地域の異文化体験に関わりながら、地元の方々がまず地元を知ってもらうことが観光に繋がる。

高齢化に対応するには

**問** 高齢化率は6区の約53%を筆頭に全町で約38%。計画的に町全体を変えていく必要があるが。

**住民環境課長** 地域公共交通プロジェクトでは、待合所や買い物支援などを検討していく。

**問** 地域のまとまりを進めるための補助金は。

**町長** 補助金ありきでなく、地区の自主性を尊重。

サードプレイスと  
文化的なまちづくりを



たけもと かな  
竹元 完奈

イオン新店舗内に  
子育て施設



町長

秋に行っていた運動会  
6月にやるのは



まつい 節夫  
松井 節夫

行事が多く  
練習時暑い



教育長



子ども未来懇話会  
などで意見を  
いただいで検討し  
ていく。

**町長** 町には施設はないが、イオン店舗内に子育て施設・市民の交流スペースを検討中。子ども未来懇話会などで意見をいただいで検討していく。

**問** サードプレイスの現状と町長の考えは。  
**教育こども課長** 町の現状は、0〜5歳までは「ポケット」小学生は「放課後児童教室」、全世代には「ここと」で孤独を防止している。



点検は。  
**問** 運動器具の教育こども課長

**問** 小中学校での事故の状況は。  
**教育長** 擦り傷、捻挫、打撲など、R2年73件、R3年129件、R4年103件を保健室で対応。  
**問** 給食での事故は。  
**教育長** R4年5月にアレルギー児童の食べ物が他の児童に配膳されたが大事に至らなかった。給食担当と保護者で情報共有する。



子育て世代と語る様子

**問** 危機的状況である、少子化への町独自の政策は。  
**町長** 価値観の変化もあるが、経済的理由もある。

少子化対策

**問** 水月公園の観光地としての位置付けは。

水月公園の管理は

**問** 自転車乗車教育は。  
**教育こども課長** 南小は自分の自転車で実施訓練、北小はビデオ等で教育、中学校は警察が講話をしている。

国の基準は年1回だが、各校月1回点検している。  
**問** AEDの設置と訓練は。  
**教育こども課長** 各校1台、学童に各1台設置し計6台。救命講習を受けている。  
**問** 自転車の管理は。  
**建設水道課長** 地衣類で木が弱ることはないので除去する必要はないが、老木で弱っているので対応する。

**問** 職員の給与における男女の差異の公表が義務付けられたが、町の現状は。  
**総務課長** 現在集計中。準備でき次第公表していく。  
**問** 男女の賃金格差解消に向けた取り組みは。  
**産業振興課長** 労務対策や勤労者福祉、啓発など、ウ

ジェンダーギャップ解消

学金は給付型も可能。新婚住宅や支援事業もある。妊婦検診も行い経済的負担軽減もしている。

**問** 桜の古木対策、千本桜構想は。  
**建設水道課長** 40年以上の古木が3割。H30年にプロジエクトを開始し、3回植

が弱ることはないので除去する必要はないが、老木で弱っているので対応する。

**問** 桜の木に地衣類(菌類)が付いている桜の管理は。  
**建設水道課長** 第一区や、水月会などと協議していく。



俳句の句碑が新たに建立

樹。現在休止しているが、建設水道課で年10本植樹。  
**問** 今後の計画は。  
**建設水道課長** 第一区や、水月会などと協議していく。

**問** パートナリシップ制度導入の考えは。  
**総務課長** 県は7月から申請受付、8月より施行。町は県の受付受領書を持って県と同様に使える。  
**問** サードプレイス 家以外の居心地の良い場所  
**パートナリシップ** 同姓同士等婚姻に相等する関係を認める制度

子育て支援「3つのゼロ」  
実施を

当町の財政では  
実施困難



町長



かない けいこ  
金井 敬子

春宮前の無人販売所の取得は  
考えないか

地主より  
良い話があれば



町長



なかにやま とおる  
中山 透



健康な子どもの  
完全窓口無料化  
により、比較的

方針は未だ示されていない。  
住民環境課長 国の具体的  
ペナルティはなくなるはず。  
自治体の実施に対し、国の  
無料化の、早期実現を。

問 県や国でも、給食費無  
償化への動きがある。財政  
調整基金を活用し、思い切  
って無償化実施を。  
町長 年間8700万円の  
財政負担が必要で、困難。  
問 子どもの医療費完全窓



現在の規制で効  
建設水道課長  
の安全確保は。

問 無人販売所の取得は。  
町長 おんばしら館よいさ  
への導線、春宮のトイレの  
立替用地として地主と協議  
したが合意に至らなかった。  
問 太鼓橋周辺の車両通行

問 町から無人販売所への  
指導は。  
住民環境課長 私有地なの  
で指導はできないが、道路  
上へのガラスの飛散などで  
は指導した経緯がある。



受診が増える課題もある。  
町長 住む地域によって差  
があるのは、事実。本来は、  
国の責任で行われるべきで  
あり、動向を注視する。

問 移住者向けの雇用情報  
の発信は。  
産業振興課長 1・41倍の  
求人倍率であり、企業は人  
材不足、リアルな情報の提  
供をしていく。

問 当町へのきつかけ提供  
はどのようにしていくのか。  
産業振興課長 ニーズを汲  
み取り、meemee c  
enter sumeba  
での相談や、今年度から構  
築するHPを活用していく。

果がある。規制解除は難し  
い。  
移住施策について  
問 子育て移住者への施策  
は。

問 学校や公共施設のトイ  
シの面積は男女で同じとこ  
ろが多数で、全て個室の女  
性の便器数は少ないのが現  
状。一方、トイレに要する  
時間は女性が男性の2・5  
倍。女性の待ち時間は男性

問 赤ちゃんから課税され  
る国保税均等割りは、子育  
て支援に逆行する。廃止を。  
町長 均等割廃止がすべて  
子育て支援の施策ではなく、  
広い観点で検討したい。

問 当町での教師不足は。  
教育長 基準通りの配置で  
不足の実態はない。  
問 年次有給休暇の促進は。  
教育長 毎年、学校リフレ  
ッシュウィークを設定。

問 働き方改革の公表は。  
教育長 県教委と保護者へ  
は連絡ツールを活用して、  
また班回覧で住民へ公表し  
ている。

より長くて構わないと言っ  
に等しく、おかし。今後  
改修が予定されている公共  
施設では、女性トイレの面  
積を増やすべき。  
総務課長 今後の改修時に  
は、誰もが安心して使用で  
きるトイレを検討したい。  
教育子ども課長 今後改修  
予定の総合文化センターで  
は、トイレの面積を増やす  
ことは困難。もみの木ホー  
ル使用時に大ホールのトイ  
シを開放することで、女性  
トイレの不足に対応したい。



# 私が議員になったわけ



下諏訪町議会議員選挙は2期連続の無投票となりました。私たちの思いを、町民の皆様にお伝えする選挙戦の期間が1日しかなかったため、私たちが議員になった思いを、お届けいたします。

今回新たに、新人議員が5人となり、下諏訪町議会がはじまりました！議員ってなんだか遠い存在何やっているのかわからないという声もよく耳にします。町民の皆さんにより身近な議会を目指して参ります。よろしくお願いたします。

**移住者ですが  
下諏訪町が大好き！**  
高橋 幸二

私は2020年に神奈川県から移住してきました。今まで接客業でお客様に尽くしてきましたが、町のために尽くすことができる「地域おこし協力隊」という仕事を知り「これだ！」と思いました。憧れだった長野県に移住しようと思ったところ、下諏訪町の雰囲気、温泉、温かい人たちに魅力を感じ、町への移住を決意しました。

移住してからは地元の方の温かさに触れ、たくさん支えていただき、下諏訪町が大好きになりました。大好きな下諏訪町で、地元の人と移住者をつなげる橋渡し役になって「下諏訪町を一つにしたいい！」と思い議員になろうと決意しました。これからは、地元の人にとって、より良い町になるよう貢献していきます！



協力隊から議員へ「気持ち新たに!!」



マモルンジャー・グリーン!!

**子供たちが  
キラキラと育つ町づくり**  
林 吉広

第7区子供見守り隊として朝夕子供たちの登下校を見守って今年で6年目になります。「おじさん！おはよう」子供たちのキラキラとした目と満面の笑顔は、私自身に生きている意味を実感させてくれます。まぶしい空を！輝く海を！渡せるもんか悪魔の手には!!

町には子供たちにとっての大勢の「ヒーロー」がいます。保育園や学校の先生、よく行く病院の先生、お巡りさんや消防隊員、救急隊員、地域の消防団員さん。皆さんのようにかっこいい正義の味方子供たちを守る正義の町議会議員になりたいと思っています。今の子供たちが大きくなって、お父さん・お母さんになった時、その子供たちの未来について再び話せる「おらが村のおじさん」で在り続けたいと思っています。

**地域の皆さんの  
思いをうけとめて**  
花岡 進

学生時代、社会福祉学部で「権利としての社会保障」を学びました。全国ゼミナールで、被爆の苦しみは今も続いていることを知り、「核兵器は無くさなければ、戦争は絶対やってはいけない」と思ったことが今につながっています。

就職してからは、人と話したり集団の中で仕事をするのが得意ではなく、「コツコツと仕事するタイプ」でした。当時の先輩から「成長のためには自分の苦手なことをやってみなさい」の一言に押され、その後、病院の事務長や保護者関係の役もいくつかやりました。医療機関に39年、患者さんや地域のみなさんの思いをお聞きしてきました。ひとりひとりが大切にされ平和に安心して暮らせる下諏訪町に、という思いを強くしています。



ランニング頑張っています!!

# 私が議員になったわけ

みらいは私たちの

手の中に

竹元 完奈

「政治家になる選択肢」私の中では、とてもとても遠かった。あるきっかけから、「いつか若者・女性の政治家は増えるだろう」「いつか、この生きづらいつ世の中は変わるだろう」と、政治オタクの私でも、どこか他人事だったことにハッとした。私の周りは、投票なんて変わらないし無駄だから、行かない。そんな政治への絶望を耳にする。政治が与えた不信感、絶望感、それをまた同時に政治で希望に変えたいと思った。私の選挙を通して、選挙に行かないことを選択した人達がブレイヤーになる瞬間を見た。それだけでも大きな変化と言えるだろう。いざ議員生活がはじまり、私の世代が政治参画することの重要性をひしひしと痛感している。



諏訪湖にて。親友カメラマン撮影



アメリカのわんこと国際交流

諏訪湖浄化は私のライフワークです

大橋 和子

今から40年前、下諏訪に移住した際、町を活性化するにはどうしたら良いかを考えましたが、自分には何の力もないから所詮無理と思っていました。5・6年前から議員候補のお誘いを受け決心し、町民の方からのご意見や励ましの言葉を頂き、だんだんと目標が見えてきました。40年間旅行業で培った世界感、語学力、日本の観光地の実体験を、町の観光事業の発展に生かしたい。家庭の事情があり1人で東京にて7年間子育てと仕事で苦労した経験を若い人やこれから結婚を考えている皆様に、また子育てに役立てたい。老後のあり方を共に考え、食糧危機に備えた自然農業の促進や子ども居場所作りもやってみよう。諏訪湖浄化は私のライフワークです。住みたい下諏訪町を目指します。

町民の抱える困難

解決のために

金井 敬子

各種制度の維持のために、「自己責任」や「負担の公平」が当たり前とばかりに叫ばれ、社会保障を削る国政が続いています。病気になるったり、介護が必要になったり様々な困難を抱える状況になるとや、その解決は「自己責任」。サービスを受けるなら負担は当然という、「負担の公平」。私はそうは思いません。

ここ3年間は、コロナ禍と物価高で、さらに暮らしの困難さが増えています。そうした方々に寄り添い、困難を減らし、生活を支えることこそが、政治の役目だと思います。

冷たい国政の防波堤の役目を町が十分果たせるよう、一つでも多くの町民の声を届け、事例を訴え暮らしを支える温かな施策実現を求めています。



文具が大好き  
眺めてニンマリ、  
使ってニンマリ♪

出合いが

人を地域を変える

豊島 健之



更なる出合いが  
楽しみです！

H27年に松本から三世代四人家族で下諏訪に移住して8年、地域の方々に支えられてきました。当地は地域活動が非常に活発で、分館体育部と文化部の部長を経験することで、多くの仲間を得ることができました。また、地元の熊野神社の信徒総代も経験し、民俗学的文化遺産が数多く残るだけでなく、その伝統を守りながら「互助」「共助」の精神が綿々と息づくこの地に惹かれてきました。近年では人口減・少子高齢化により、地域の誰もが生かされていくことを嘆き、災害発生時に避難の困難さを不安視している状況です。中学生の子を持つ親として、車椅子生活の母を介護する子として、当事者として、この町を安心安全で豊かな住み良い町にすべく力を尽くしたいと思えます。

# 私が議員になったわけ

やっぱり、  
あなたの味方になりたい

野沢 弘子

私の両親は佐久と富士見の生まれで、東京で10数年ウインドー製作の仕事をしていましたが、母方の弟妹の面倒を見るために、下諏訪町に家族3人で移住してきました。下諏訪生まれ下諏訪育ちと思っていました。私も移住者でした。私は学校卒業後、下諏訪町に戻り会社勤務を経て家業の仏壇店で40年仕事をしてきました。私は兄弟がいなかったので、幼い頃から、犬猫小鳥いろんなペットがそばにいました。結婚後は両親と夫と子ども3人の大家族となり、仕事や家事育児で自分のことは後回しの生活でした。4年前に議員にならないかと誘われ、断るすべもなくスタート。今思うと家族に迷惑かけっぱなしですが、議員にしかできない仕事もあるんだと一生懸命勉強の毎日です。



バラの中で、ほっと一息

要望のあるところ、  
車やバイクで駆け付けます。



町民要望実現のため  
駆け巡ります

松井 節夫

若い頃から政治には関心がありました。日本国憲法では戦争を放棄して軍隊を持たない。誰もが健康で文化的な生活を保障されています。しかし、現在軍備は増強され、近隣国との緊張が続く、生活の一部の富裕層を除き苦勞しています。富めるものはますます富み、格差が広がっています。弱者に寄り添った政治が必要です。国の政治は戦争準備に多額のお金をかける分、生活に回す予算が削られてきます。戦争の準備より平和の準備こそ必要です。悪政から町民を守る防波堤の役割を果たしたい。国が医療費や社会保障費を削るので、町も十分な施策ができなくなります。そんな中で、皆さんの切実な要望実現のため、駆け巡りたいと思います。平和な社会を守るため頑張ります。

明るく住みよい  
町づくりを目指して

中山 透

ある方に、「議員のなり手がない、若者の参加がない!」と云うが、当たり前である。努力する人ほど、努力の割に評価と対価がないのが地方議員だと思つた。そう言われ愕然としました。地方が生きて残るには?そのために優秀な議員を育てるには?どうすればいいのかと自身にも問いかけ、「議員の資質向上」に取り組むことが、地域の発展に繋がると考えました。

「下諏訪町の議会はしっかりとやっているぞ!」と云ってもらえるよう、「声なき声」をしっかりと聴いて、議会の権能をしっかりと発揮し、「将来議員になりたい」議員になって町を良くしたい」という若い世代が出てくるような活動をしていきます。

今、地域の力が問われています。議員としてしっかりと発言し、行動していきます。



新しい気持ちで再度議席に

木遣りも頑張っています!



男女が50対50の社会に

青木 利子

20年ほど前、町議員の先輩である樽川通子さんが「女性議員をふやすネットワーク『しなの』」を立ち上げたことから、勉強会に参加し議員を目指しました。6期目の今も同じ気持ちです。また、その会は長野県の全市町村に女性議員がない自治体がゼロになることを目標に活動もしてきました。

この世の中のあらゆるところに男性と女性が50対50「フィフティ・フィフティ」が存在する自然な社会を目指して働きます。当町において課長職9人の内、女性の役割は1人ですから増やすことが喫緊の目標です。また過去にもありました。今議会も13人中5人が女性議員ですが、次回は目標の50%になればと考えます。

